



Linux

CARPS2 プリンタードライバー

ユーザーズガイド

もくじ

はじめに	2
マニュアルの使いかた	3
マニュアルの表記	4
免責事項	5
著作権	6
商標	7
このドライバについて	9
ご使用前に	12
インストールする	14
インストール前の確認	15
必要なシステム環境	16
インストール時の注意事項	17
Readme ファイルについて	18
インストールの流れ	19
インストーラを使用してインストールする	20
必要なモジュールを個別でインストールする	22
プリンタを登録する	24
ドライバのバージョンを確認する	28
モジュールを置き換えてドライバを更新する	29
ドライバをアンインストールする	32
印刷方法	37
ドライバ UI からの印刷	38
アプリケーションからの印刷	40
GIMP 2.x でのプリンタの登録方法	41
アプリケーションから印刷する	42
アプリケーションから PostScript ファイルを出力する	43
アプリケーションから印刷する際の注意事項	45
ドライバ UI から PostScript ファイルを印刷する際の注意事項	47
コマンドラインからの印刷	48
ドライバ UI からの印刷設定	50
プリンタ選択/印刷設定	51
[印刷全般] ページ	53
[基本機能] ページ	56
[給紙] ページ	58
[拡張機能] ページ	62

コマンドラインからの印刷設定	65
印刷全般	66
印刷部数	67
基本機能	68
両面印刷	69
とじ位置	70
排紙方法	71
カラーモード	72
ドラフトモード	73
給紙機能	74
給紙トレイ	75
用紙種類	76
原稿サイズ	79
A5 を横送り	81
拡張機能	82
用紙サイズのチェック	83
特殊設定 1	84
ステータスマニタについて	86
ステータスマニタの各部の名称と機能	87
ステータスマニタを起動する	88
メニューについて	89
付録	93
主な制限事項	94
サポートについて	95

はじめに

はじめに	2
マニュアルの使いかた	3
マニュアルの表記	4
免責事項	5
著作権	6
商標	7

はじめに

577Y-000

- ▶ マニュアルの使いかた(P. 3)
- ▶ 免責事項(P. 5)
- ▶ 著作権(P. 6)
- ▶ 商標(P. 7)

マニュアルの使いかた

577Y-001

このマニュアルを使用するにあたり、知っておく必要のある内容を説明します。

▶ **マニュアルの表記(P. 4)**

マニュアルの表記

577Y-003

このマニュアルで使用しているマークや、設定項目について説明します。

マークについて

このマニュアルでは、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の説明に、次に示すマークを付けて説明しています。

重要

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

設定項目について

このマニュアルでは、コンピューター画面に表示される設定項目名称を、次の例のように表記しています。

例：

[印刷]

[OK]

免責事項

577Y-006

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

キャノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キャノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

著作権

577Y-007

Copyright CANON INC. 2019

キヤノン株式会社の事前の書面による承諾を得ることなしに、いかなる形式または手段（電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動、またはその他の形式／手段を含む）をもっても、本書の全部または一部を、複製、転用、複写、検索システムへの記録、任意の言語やコンピューター言語への変換などを行うことはできません。

商標

577Y-008

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

macOS、Safari は、Apple Inc.の商標です。

その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

このドライバについて

このドライバについて 9

このドライバについて

577Y-009

このドライバは、キヤノンデバイスに対応した、Linux OS 用のプリンタドライバです。Linux OS 向けの印刷システム CUPS (Common UNIX Printing System) を使用します。

このドライバをインストールすると、GUI (Graphical User Interface) の設定画面およびコマンドラインから、デバイス固有の機能を設定して印刷できます。

ドライバの設定画面からの印刷

コマンドを実行して表示されたドライバの設定画面から印刷できます。また、デバイス固有の機能も設定できます。



アプリケーションの設定画面からの印刷

アプリケーションの印刷メニューから、設定画面を表示して印刷できます。設定できる印刷機能は、アプリケーションによって異なります。



メモ

- アプリケーションから設定できない印刷機能は、あらかじめドライバの設定画面またはコマンドラインからデフォルト設定を変更することにより使用できます。

コマンドラインからの印刷

lpr コマンドを使用して印刷できます。デバイス固有の機能を、オプションとして指定できます。

関連項目

- ▶ [ドライバ UI からの印刷\(P. 38\)](#)
- ▶ [アプリケーションからの印刷\(P. 40\)](#)
- ▶ [コマンドラインからの印刷\(P. 48\)](#)

ご使用前に

ご使用前に 12

ご使用前に

577Y-00A

- 最新版のドライバーは、キヤノンホームページに掲載されます。動作環境などをご確認の上、必要に応じてダウンロードしてください。
キヤノンホームページ： <https://canon.jp/>
- 以下の条件によって、使用できる機能が異なる場合があります。
 - ご使用のデバイスとその設定状況
 - デバイスのファームウェアのバージョン
 - デバイスのオプション構成
 - ドライバーのバージョン
 - ご使用のコンピューター的环境
- マニュアル内の画面表示、手順など記載内容が実際の表示と異なる場合があります。
- マニュアル内に記載しているドライバモジュールおよびパッケージファイル名は、ご使用のドライババージョンによって異なる場合があります。
- このマニュアルでは、明記していない場合、Ubuntu 16.04 を例にして説明しています。
- CUPS については、次のホームページを参照してください。
CUPS Software Administrators Manual： <http://www.cups.org>

インストールする

インストールする	14
インストール前の確認	15
必要なシステム環境	16
インストール時の注意事項	17
Readme ファイルについて	18
インストールの流れ	19
インストーラを使用してインストールする	20
必要なモジュールを個別でインストールする	22
プリンタを登録する	24
ドライバのバージョンを確認する	28
モジュールを置き換えてドライバを更新する	29
ドライバをアンインストールする	32

インストールする

577Y-00C

ドライバをインストールおよびアンインストールする方法について説明しています。

- ▶ **インストール前の確認(P. 15)**
- ▶ **インストールの流れ(P. 19)**
- ▶ **インストーラを使用してインストールする(P. 20)**
- ▶ **必要なモジュールを個別でインストールする(P. 22)**
- ▶ **プリンタを登録する(P. 24)**
- ▶ **ドライバのバージョンを確認する(P. 28)**
- ▶ **モジュールを置き換えてドライバを更新する(P. 29)**
- ▶ **ドライバをアンインストールする(P. 32)**

インストール前の確認

577Y-00E

ドライバを正しくインストールするために、事前に確認しておくことを説明しています。

- ▶ **必要なシステム環境(P. 16)**
- ▶ **インストール時の注意事項(P. 17)**
- ▶ **Readme ファイルについて(P. 18)**

必要なシステム環境

577Y-00F

このドライバは、次のシステム環境で使用してください。

ハードウェア

x86 互換の、32 ビット CPU または 64 ビット CPU を搭載した、Linux が動作するコンピュータ

ソフトウェア

- CUPS バージョン 1.4 以降

ドライバをインストールする前に、CUPS を OS へインストールし、起動しておいてください。

セキュリティに応じた各種サービスで、プリンタの追加と印刷が可能となっている必要があります。

- Ghostscript

印刷する前に、使用しているディストリビューションに対応した Ghostscript をインストールまたはアップデートしておいてください。Ghostscript は、ディストリビューションの Web サイトより入手できます。

インストール時の注意事項

577Y-00H

次のことに注意してインストールしてください。

- インストールする場合、または Canon Printer Setup Utility を使用してプリンタを登録する場合は、操作する前に CUPS のスプーラサービスを起動しておいてください。
- 使用するコンピュータの IP アドレスを指定したネットワーク環境で CUPS のステータスが表示できない場合は、CUPS のセキュリティを設定する必要があります。

/etc/cups/cupsd.conf にある次の項目に、CUPS を使用しているコンピュータの IP のアドレスを追加したあと、CUPS を再起動してください。

```
<Location />
```

```
<Location /admin>
```

xx.xxx.xxx.xxx という IP アドレスを、cupsd.conf に追加する例を次に示します。

```

:
<Location />
Order Deny,Allow
Deny From All
Allow From 127.0.0.1
Allow From xx.xxx.xxx.xxx
</Location>
:
<Location /admin>
:
Order Deny,Allow
Deny From All
Allow From 127.0.0.1
Allow From xx.xxx.xxx.xxx
:
</Location>

```

CUPS を使用するためのネットワークなどに関するセキュリティ設定については、CUPS のマニュアルを参照してください。

- バージョン 1.50 以前のドライバをバージョン 5.00 以降に更新する場合は、登録しているプリンタを削除したあとに、ドライバをアンインストールしてから、バージョン 5.00 以降のドライバをインストールしてください。

関連項目

- ▶ インストーラを使用してインストールする(P. 20)
- ▶ 必要なモジュールを個別でインストールする(P. 22)
- ▶ モジュールを置き換えてドライバを更新する(P. 29)
- ▶ ドライバをアンインストールする(P. 32)

Readme ファイルについて

577Y-00J

ドライバのインストール時または使用時の注意事項は、Readme ファイルに書かれています。

Readme ファイルは、ダウンロードしたドライバの [Documents] ディレクトリー内に、次の名称で保存されています。「x.xx」はバージョンを示します。

README-carps2-x.xx.html

インストールの流れ

577Y-00K

印刷するためには、ドライバをインストールしたあと、CUPS のスーパーサービスにプリンタを登録します。
使用する環境に合ったインストール方法を選択してください。

Ubuntu/Fedora/CentOS 7.3 以降/Debian 8.6 以降の場合

インストーラを使用して、ドライバを新規インストールまたは更新できます。

インストーラを使用してインストールする(P. 20)

↓

プリンタを登録する(P. 24)

上記以外のディストリビューションの場合

ドライバの新規インストール時

必要なモジュールを個別でインストールする(P. 22)

↓

プリンタを登録する(P. 24)

ドライバの更新インストール時

モジュールを置き換えてドライバを更新する(P. 29)

↓

プリンタを登録する(P. 24)

関連項目

- 🔴 必要なシステム環境(P. 16)
- 🔴 インストール時の注意事項(P. 17)

インストーラを使用してインストールする

577Y-00L

インストーラを使用して、新たにドライバをインストールします。

同じ手順で、すでにインストールされているドライバを更新することもできます。更新後にプリンタを再登録する必要があるため、あらかじめプリンタの登録情報を確認しておいてください。

インストーラを使用する場合は、次のディストリビューションのいずれかであることをおすすめします。

Ubuntu/Fedora/CentOS 7.3 以降/Debian 8.6 以降

事前条件

- **必要なシステム環境(P. 16)**
- **インストール時の注意事項(P. 17)**
- ドライバをインストールするコンピュータが、インターネット環境に接続している
- インストーラの準備
ドライバの最新版は、キヤノンホームページ (<https://canon.jp/>) からダウンロードしてください。
ダウンロードしたドライバは、使用するコンピュータに解凍しておいてください。

操作手順

1 端末（ターミナル）からスーパーユーザー権限で、インストーラを実行

現在ディレクトリが、install.sh を格納しているディレクトリである場合の例を次に示します。

sudo コマンドを使用する場合

```
$ sudo ./install.sh
```

su コマンドを使用する場合

```
$ su  
# ./install.sh
```

2 インストールの続行を確認するメッセージが表示されたら、内容を確認 → 問題なければ [Y] を入力

3 [インストールが完了しました。続けてプリンタ登録を行いますか。] のメッセージが表示されたら、プリンタ登録を続行するかどうかを入力

プリンタ登録に進む場合は、[Y] を入力してください。ユーティリティ（Canon Printer Setup Utility）が表示されません。

プリンタを登録しない場合は、[N] を入力しインストーラを終了します。

正しくインストールできない場合は、Readme ファイルでインストールに関する制限事項などを参照してください。

関連項目

- ▶ [プリンタを登録する\(P. 24\)](#)
- ▶ [Readme ファイルについて\(P. 18\)](#)
- ▶ [必要なモジュールを個別でインストールする\(P. 22\)](#)

必要なモジュールを個別でインストールする

577Y-00R

コマンドを使用して、必要なモジュールを個別にインストールします。インストーラが使用できない場合は、この手順でインストールしてください。

この手順で正しくインストールできない場合は、Readme ファイルでインストールに関する制限事項などを参照してください。

事前条件

- **必要なシステム環境(P. 16)**
- **インストール時の注意事項(P. 17)**
- ドライバをインストールするコンピュータが、インターネット環境に接続している
- スーパーユーザー権限である
sudo コマンドまたは su コマンドを実行してから操作してください。
- インストールに必要なモジュールの準備
ドライバの最新版は、キヤノンホームページ (<https://canon.jp/>) からダウンロードしてください。
ダウンロードしたドライバは、使用するコンピュータに解凍しておいてください。

操作手順

Red Hat 系ディストリビューションの場合、または Debian 系ディストリビューションの場合それぞれの手順を示します。

インストールするモジュールのファイル名で、「x.xx」はバージョンを示します。

コマンドの実行例では、指定するファイルが格納されているディレクトリに、cd コマンドで移動した場合の例を示しています。

Red Hat 系ディストリビューションの場合

1 プリンタドライバモジュールをインストール

32 ビット環境の場合

```
# rpm -ivh cnrdrcups-carps2-x.xx-1.i386.rpm
```

64 ビット環境の場合

```
# rpm -ivh cnrdrcups-carps2-x.xx-1.x86_64.rpm
```

2 CUPS を再起動

次のどちらかのコマンドを使用してください。

```
# /etc/init.d/cups restart
```

または

```
# service cups restart
```

CUPS の再起動が完了したら、プリンタを登録してください。CUPS の再起動が完了するまでは、プリンタを登録しないでください。

Debian 系ディストリビューションの場合

1 プリンタドライバモジュールをインストール

32 ビット環境の場合

```
# dpkg -i cndrv cups-carps2_x.xx-1_i386.deb
```

64 ビット環境の場合

```
# dpkg -i cndrv cups-carps2_x.xx-1_amd64.deb
```

2 CUPS を再起動

次のどちらかのコマンドを使用してください。

```
# /etc/init.d/cupsys restart
```

または

```
# service cups restart
```

使用している OS やディストリビューションによっては、rpm パッケージ用のコマンドを使用する必要があります。

CUPS の再起動が完了したら、プリンタを登録してください。CUPS の再起動が完了するまでは、プリンタを登録しないでください。

関連項目

- ▶ [プリンタを登録する\(P. 24\)](#)
- ▶ [Readme ファイルについて\(P. 18\)](#)

プリンタを登録する

577Y-00S

CUPS のスプーラサービスにプリンタを登録します。

ドライバのインストーラからユーティリティ（Canon Printer Setup Utility）を起動している場合は、手順 2.(P. 24) から操作してください。

事前条件

- ドライバのインストール
- ホスト名または IP アドレスの確認（ネットワークプリンタを登録する場合）
- USB ケーブルがプリンタに接続されていない（USB 接続したプリンタを登録する場合）

操作手順

1 Canon Printer Setup Utility を起動

Red Hat 系ディストリビューションの場合

端末（ターミナル）からスーパーユーザー権限で、次のコマンドを実行します。

```
$ su
# cnsetuputil2l
```

Debian 系ディストリビューションの場合

次のどちらかの方法で起動してください。

- OS のアプリ一覧から、次のアイコン（Canon Printer Setup Utility）を選択



上記のアイコンがアプリ一覧に複数表示されている場合は、アイコンを右クリックして説明を確認し、このドライバに対応する Canon Printer Setup Utility を選択してください。

- 次のコマンドを実行

```
$ cnsetuputil2l
```

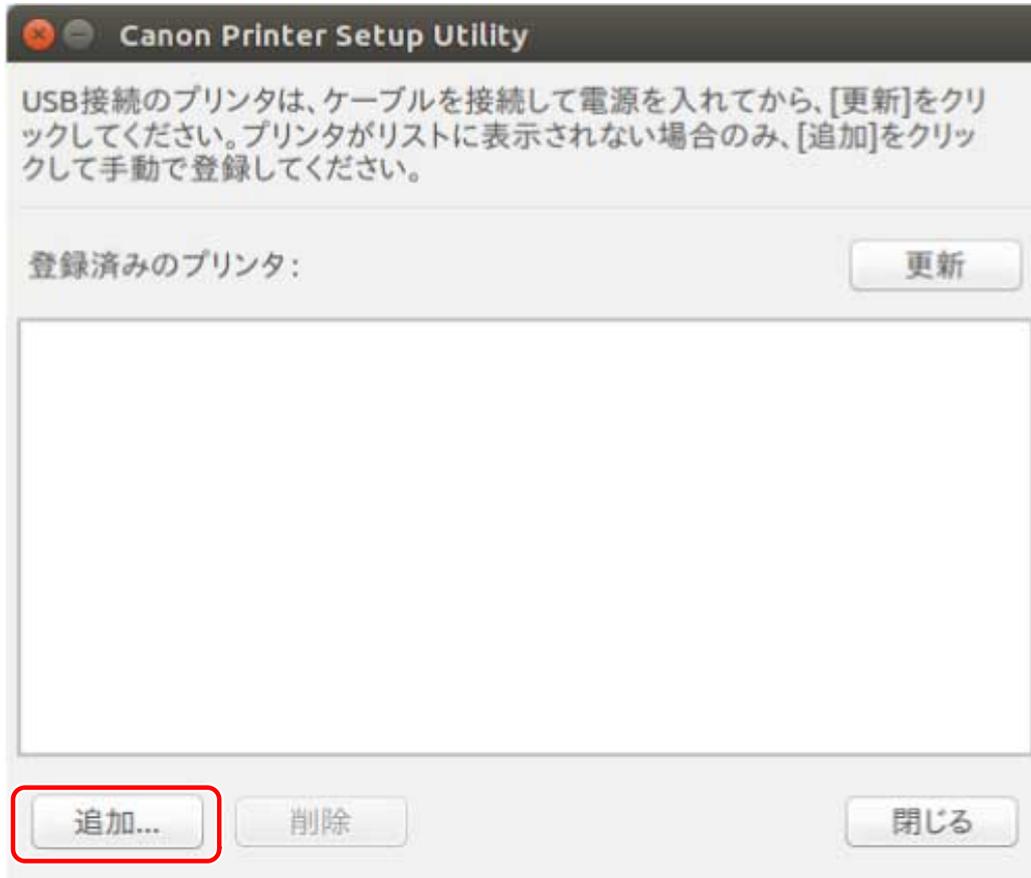
2 プリンタの接続方法に応じて次の手順を実施

ネットワークプリンタの場合

[追加] をクリック → 次の手順に進む

USB 接続したプリンタの場合

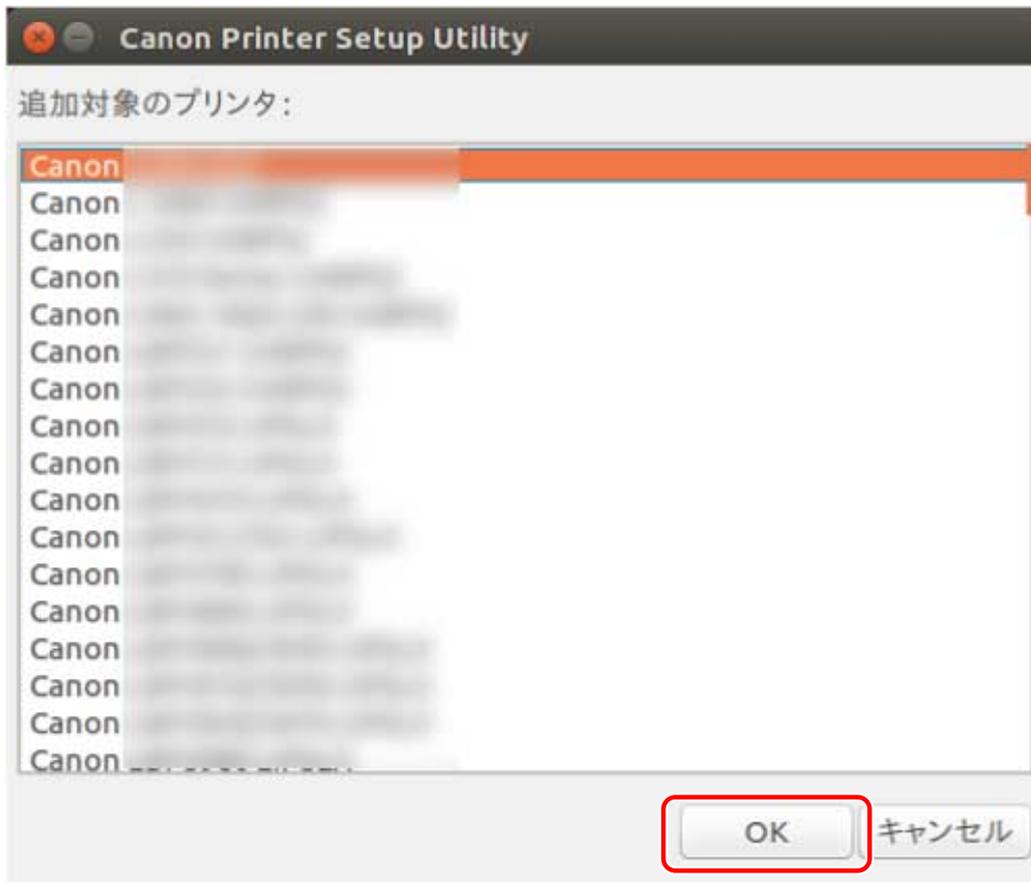
- (1) プリンタの主電源を入れる → コンピュータとプリンタを USB ケーブルで接続 → [更新] をクリック
プリンタが一覧に表示されたら、プリンタの登録は完了です。
一覧に表示されない場合は、次の手順に進んでください。
- (2) プリンタの主電源が入った状態で、ケーブルを接続し直す → [更新] をクリック
- (3) それでも一覧に表示されない場合は、[追加] をクリック → 次の手順に進む



[更新]：[登録済みのプリンタ] の一覧を更新します。

[削除]：選択したプリンタを削除します。

3 登録したいプリンタを選択 → [OK] をクリック



4 プリンタの接続方法に応じて、プロトコルまたはデバイス URI を選択 → [登録] をクリック

ネットワークプリンタの場合

[lpd] または [socket] のどちらかのプロトコルを選択したあと、[ホスト名または IP アドレス] を入力してください。

IP アドレスは、プロトコルに応じて次のいずれかの形式で指定してください。

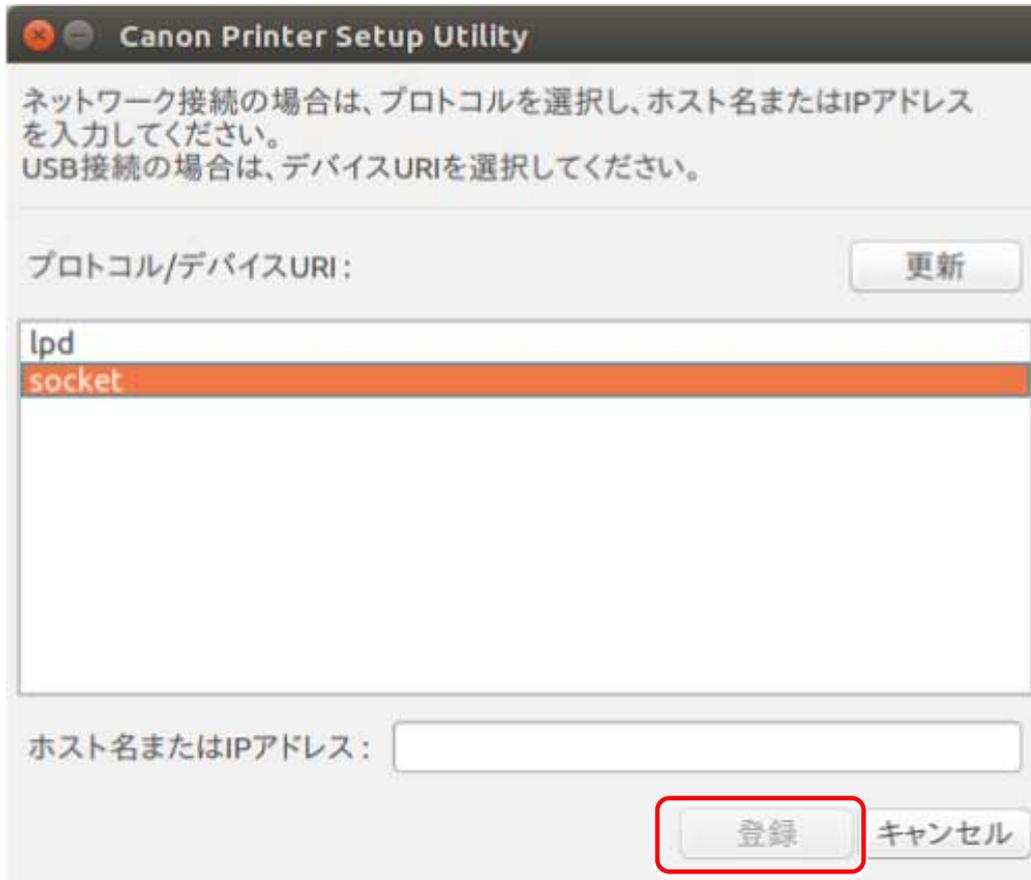
IPv4 : "xxx.xxx.xxx.xxx"

IPv6 グローバルアドレス : "xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx"

IPv6 リンクローカルアドレス (インターフェース名が eth0 の場合の例) : "xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx+eth0"

USB 接続したプリンタの場合

[usb://] で始まるデバイス URI を選択してください。



登録したいプリンタが複数ある場合は、手順 2.(P. 24) から手順 4.(P. 26) を繰り返してください。

5 プリンタ登録が完了したら、[閉じる] をクリック

登録されたプリンタで正しく印刷できない場合は、Canon Printer Setup Utility の [削除] でプリンタを一旦削除し、[追加] で再度登録し直してください。

ドライバのバージョンを確認する

577Y-00U

コマンドを使用して、現在インストールされているドライバのバージョンを確認する手順を説明します。

1 インストールされているドライバのパッケージ名を表示

Red Hat 系ディストリビューションの場合

```
$ rpm -qa | grep cnrdrv cups
```

Debian 系ディストリビューションの場合

```
$ dpkg -l | grep cnrdrv cups
```

2 ドライバのバージョンを確認

パッケージ名は、次のように表示されます。「x.xx」がドライバのバージョンです。

```
cnrdrv cups-carps2-x.xx-x
```

モジュールを置き換えてドライバを更新する

577Y-00W

インストーラが使用できない環境の場合に、モジュールを置き換えて、インストールされているドライバを新しいバージョンに更新します。

ドライバを更新するためには、登録済みのプリンタを一旦削除する必要があります。更新後にプリンタを再登録する必要があるため、あらかじめプリンタの登録情報を確認しておいてください。

事前条件

- インストーラの入手
ドライバの最新版は、キヤノンホームページ (<https://canon.jp/>) からダウンロードしてください。
ダウンロードしたドライバは、使用するコンピュータに解凍しておいてください。
- スーパーユーザー権限である
sudo コマンドまたは su コマンドを実行してから操作してください。

操作手順

インストールされているドライバや環境に対応した手順を実行してください。

- バージョン 5.00 以降のドライバを更新する
 - ▶ Red Hat 系ディストリビューション(P. 29)
 - ▶ Debian 系ディストリビューション(P. 30)
- バージョン 1.50 以前のドライバを更新する
 - ▶ ディストリビューション共通(P. 31)

手順内で示すモジュールのファイル名で、「x.xx」はバージョンを示します。

コマンドの実行例では、指定するモジュールが格納されているディレクトリに、cd コマンドで移動した場合の例を示しています。

バージョン 5.00 以降のドライバを更新する - Red Hat 系ディストリビューション

1 登録済みのプリンタを削除

(1) 次のコマンドを実行し、Canon Printer Setup Utility を起動

```
# cnsetuputil2l
```

(2) 表示された画面で削除するプリンタを選択 → [削除] をクリック → プリンタが削除されたら [閉じる] をクリック

Canon Printer Setup Utility が閉じます。

2 プリンタドライバモジュールをインストール

32 ビット環境の場合

```
# rpm -Uvh cnrdrv cups-carps2-x.xx-1.i386.rpm
```

64 ビット環境の場合

```
# rpm -Uvh cnrdrv cups-carps2-x.xx-1.x86_64.rpm
```

3 新しいバージョンのドライバだけが残っていることを確認

ドライバのバージョンを表示して、確認します。

```
# rpm -qa | grep cnrdrv cups
```

4 CUPS を再起動

次のどちらかのコマンドを使用してください。

```
# /etc/init.d/cups restart
```

または

```
# service cups restart
```

プリンタが登録済みだった場合は、再登録してください。ただし、CUPS の再起動が完了するまでは、プリンタを登録しないでください。

バージョン 5.00 以降のドライバを更新する - Debian 系ディストリビューション

1 登録済みのプリンタを削除

(1) 次のどちらかの操作で、Canon Printer Setup Utility を起動

- OS のメニュー画面から [Canon Printer Setup Utility 2L] を選択
- 次のコマンドを実行

```
$ cnsetuputil2l
```

(2) 表示された画面で削除するプリンタを選択 → [削除] をクリック → プリンタが削除されたら [閉じる] をクリック

Canon Printer Setup Utility が閉じます。

2 プリンタドライバモジュールをインストール

32 ビット環境の場合

```
# dpkg -i cnrdrv cups-carps2_x.xx-1_i386.deb
```

64 ビット環境の場合

```
# dpkg -i cnrdrv cups-carps2_x.xx-1_amd64.deb
```

3 新しいバージョンのドライバだけが残っていることを確認

ドライバのバージョンを表示して、確認します。

```
# dpkg -l | grep cndrv cups
```

4 CUPS を再起動

次のどちらかのコマンドを使用してください。

```
# /etc/init.d/cupsys restart
```

または

```
# service cups restart
```

使用している OS やディストリビューションによっては、rpm パッケージ用のコマンドを使用する必要があります。

プリンタが登録済みだった場合は、再登録してください。ただし、CUPS の再起動が完了するまでは、プリンタを登録しないでください。

バージョン 1.50 以前のドライバを更新する - ディストリビューション共通

1 ドライバをアンインストールする(P. 32)

2 必要なモジュールを個別でインストールする(P. 22)

プリンタが登録済みだった場合は、再登録してください。ただし、CUPS の再起動が完了するまでは、プリンタを登録しないでください。

関連項目

- ▶ ドライバのバージョンを確認する(P. 28)
- ▶ プリンタを登録する(P. 24)
- ▶ インストーラを使用してインストールする(P. 20)

ドライバをアンインストールする

577Y-00X

不要になったドライバをアンインストールする手順を説明します。ユーティリティ（Canon Printer Setup Utility）で登録したプリンタを削除してから、ドライバをアンインストールする必要があります。

ドライバの更新のため、一旦ドライバをアンインストールする場合も、この手順で操作してください。

インストールされているドライバや環境に対応した手順を実行してください。

- バージョン 5.00 以降のドライバをアンインストールする
 - ▶ Red Hat 系ディストリビューション(P. 32)
 - ▶ Debian 系ディストリビューション(P. 33)
- バージョン 1.50 以前のドライバをアンインストールする
 - ▶ Red Hat 系ディストリビューション(P. 33)
 - ▶ Debian 系ディストリビューション(P. 34)

バージョン 5.00 以降のドライバをアンインストールする - Red Hat 系ディストリビューション

1 スーパーユーザー権限をもつアカウントに変更

sudo コマンドを使用する場合

```
$ sudo su
```

su コマンドを使用する場合

```
$ su
```

2 登録済みのプリンタを削除

(1) 次のコマンドを実行し、Canon Printer Setup Utility を起動

```
# cnsetuputil2l
```

(2) 表示された画面で削除するプリンタを選択 → [削除] をクリック → プリンタが削除されたら [閉じる] をクリック

Canon Printer Setup Utility が閉じます。

3 プリンタドライバモジュールをアンインストール

```
# rpm -e cnrdrcups-carps2
```

バージョン 5.00 以降のドライバをアンインストールする - Debian 系ディストリビューション

1 登録済みのプリンタを削除

(1) 次のどちらかの操作で、Canon Printer Setup Utility を起動

- OS のメニュー画面から [Canon Printer Setup Utility 2L] を選択
- 次のコマンドを実行

```
$ cnsetuputil2l
```

(2) 表示された画面で削除するプリンタを選択 → [削除] をクリック → プリンタが削除されたら [閉じる] をクリック

Canon Printer Setup Utility が閉じます。

2 スーパーユーザー権限をもつアカウントに変更

sudo コマンドを使用する場合

```
$ sudo su
```

su コマンドを使用する場合

```
$ su
```

3 プリンタドライバモジュールをアンインストール

```
# dpkg -P cnrdrv cups-carps2
```

バージョン 1.50 以前のドライバをアンインストールする - Red Hat 系ディストリビューション

1 スーパーユーザー権限をもつアカウントに変更

sudo コマンドを使用する場合

```
$ sudo su
```

su コマンドを使用する場合

```
$ su
```

2 登録済みのプリンタを削除

(1) 次のコマンドを実行し、Canon Printer Setup Utility を起動

```
# cnsetuputil
```

(2) 表示された画面で削除するプリンタを選択 → [削除] をクリック → プリンタが削除されたら [閉じる] をクリック

Canon Printer Setup Utility が閉じます。

3 プリンタドライバモジュールをアンインストール

```
# rpm -e cndrv cups-carps2
```

4 CUPS ドライバ共通モジュールをアンインストール

```
# rpm -e cndrv cups-common
```

5 Canon Printer Setup Utility をアンインストール

```
# rpm -e cndrv cups-utility
```

バージョン 1.50 以前のドライバをアンインストールする - Debian 系ディストリビューション

1 登録済みのプリンタを削除

(1) 次のどちらかの操作で、Canon Printer Setup Utility を起動

- OS のメニュー画面から [Canon Printer Setup Utility] を選択
- 次のコマンドを実行

```
$ cnsetuputil
```

(2) 表示された画面で削除するプリンタを選択 → [削除] をクリック → プリンタが削除されたら [閉じる] をクリック

Canon Printer Setup Utility が閉じます。

2 スーパーユーザー権限をもつアカウントに変更

sudo コマンドを使用する場合

```
$ sudo su
```

su コマンドを使用する場合

```
$ su
```

3 プリンタドライバモジュールをアンインストール

```
# dpkg -P cndrv cups-carps2
```

4 CUPS ドライバ共通モジュールをアンインストール

```
# dpkg -P cndrv cups-common
```

5 Canon Printer Setup Utility をアンインストール

```
# dpkg -P cndrv cups-utility
```

関連項目

- ▶ [プリンタを登録する\(P. 24\)](#)

印刷方法

印刷方法	37
ドライバ UI からの印刷	38
アプリケーションからの印刷	40
GIMP 2.x でのプリンタの登録方法	41
アプリケーションから印刷する	42
アプリケーションから PostScript ファイルを出力する	43
アプリケーションから印刷する際の注意事項	45
ドライバ UI から PostScript ファイルを印刷する際の注意事項	47
コマンドラインからの印刷	48

印刷方法

577Y-00Y

本プリンタドライバを使用して印刷する方法について説明しています。



- お使いのコンピュータの環境や設定によっては、本ガイドに記載されている画面の表示と実際の表示が異なる場合があります。

- ▶ [ドライバ UI からの印刷\(P. 38\)](#)
- ▶ [アプリケーションからの印刷\(P. 40\)](#)
- ▶ [コマンドラインからの印刷\(P. 48\)](#)

ドライバ UI からの印刷

577Y-010

ドライバ UI を使用して各種印刷設定および印刷を行う場合は、コマンドラインより以下のコマンドを入力し、ドライバ UI を呼び出します。

メモ

- ドライバ UI からの印刷設定についての詳細は、「[ドライバ UI からの印刷設定\(P. 50\)](#)」を参照してください。

デフォルト設定を行う：\$ cngplp2l

この機能オプションは、デフォルトの各種印刷属性設定を行うためのオプションです。再度、更新設定するまで有効となります。

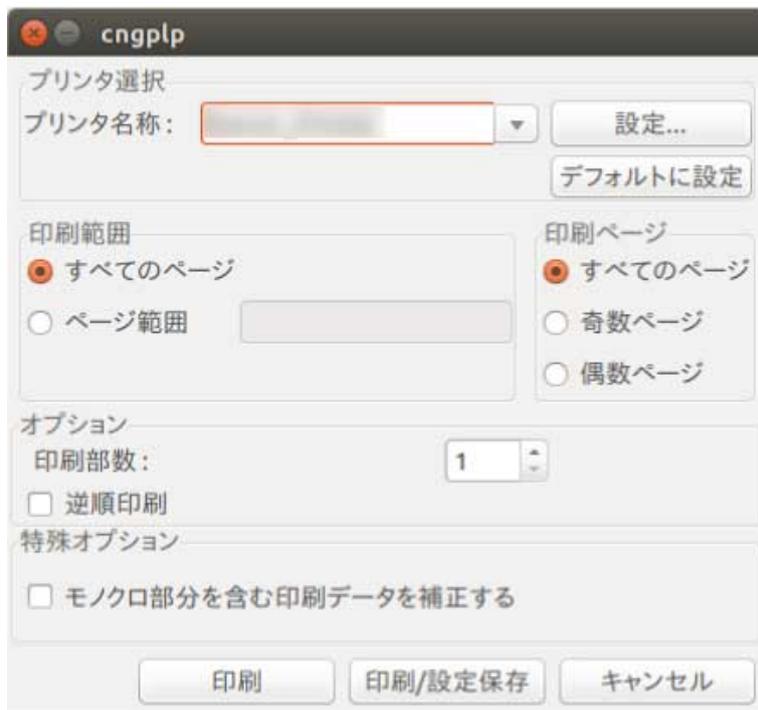


メモ

- 各種デフォルトの印刷属性設定を行うだけのオプションであるため、UI 上は [設定保存] および [キャンセル] ボタンのみ使用となります。[印刷] ボタンはグレーアウトしています。

UI 設定を行って印刷を行う：\$ cngplp2l -p [印刷するファイル名]

この機能オプションは、印刷設定を行って対象ファイルの印刷をするためのオプションです。ここで行った印刷設定を、デフォルトの設定として保存することもできます。



プリンタ選択
プリンタ名称: ▼

印刷範囲
 すべてのページ
 ページ範囲

印刷ページ
 すべてのページ
 奇数ページ
 偶数ページ

オプション
印刷部数:
 逆順印刷

特殊オプション
 モノクロ部分を含む印刷データを補正する

 メモ

- [印刷] ボタンをクリックして設定操作を完了した場合は、印刷対象ファイルの印刷ジョブに対してのみ設定が有効となり、ファイルが印刷されます。
- [印刷/設定保存] ボタンをクリックして設定操作を完了した場合は、その設定がデフォルトの印刷設定として保存され、ファイルが印刷されます。
- [キャンセル] ボタンをクリックして設定操作を完了した場合は、設定は更新されません。

アプリケーションからの印刷

577Y-011

アプリケーションから印刷を行う場合は、アプリケーションで表示される印刷設定のダイアログボックスで印刷設定を行います。

アプリケーションから印刷を行う場合は、アプリケーション側での印刷設定が優先されます。アプリケーション側で設定しない項目については、プリンタドライバ側での設定にしたがって印刷されます。

アプリケーションによっては、あらかじめプリンタの登録設定を行う必要があります。ここでは、GIMP 2.x での登録方法について、以下に説明します。



メモ

- アプリケーションからの印刷設定についての詳細は、それぞれのアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

- ▶ **GIMP 2.x でのプリンタの登録方法(P. 41)**
- ▶ **アプリケーションから印刷する(P. 42)**
- ▶ **アプリケーションから PostScript ファイルを出力する(P. 43)**
- ▶ **アプリケーションから印刷する際の注意事項(P. 45)**
- ▶ **ドライバ UI から PostScript ファイルを印刷する際の注意事項(P. 47)**

GIMP 2.x でのプリンタの登録方法

577Y-012

1 ファイルを作成して、右クリックから [ファイル] - [印刷] を選択します。

ファイルのプロパティダイアログボックスが表示されます。

2 [プリンタ設定] ページの [プリンタ名] から、プリントスプーラに登録したプリンタを選択します。

3 [プリンタの設定] をクリックします。

[プリンタ設定] ダイアログボックスが表示されます。

4 [コマンド] に、コマンドラインを入力します。

コマンドラインは以下のように入力します。

```
lpr -P [プリントスプーラに登録したプリンタ名]
```

5 [PPD ファイル] に、PPD ファイル名をフルパスで入力します。または、[場所を指定する] をクリックして、[PPD ファイル] ダイアログボックスを開いて、PPD ファイルを選択します。

メモ

- PPD ファイルは、/usr/share/cups/model/フォルダに格納されています。
- お使いのプリンタに対応する PPD ファイル名については、Readme ファイルを参照してください。

6 [了解] をクリックしたあと、[設定を保存] をクリックします。

設定が保存されます。

アプリケーションから印刷する

577Y-013

ここでは、OpenOffice.org での印刷方法について説明します。



メモ

- お使いのアプリケーションによっては、以下の操作手順およびメニューが異なる場合があります。
- アプリケーションによっては、印刷コマンドや PPD ファイルの指定が必要なものがあります。お使いのプリンタに対応する PPD ファイル名については、Readme ファイルを参照してください。

1 OpenOffice.org を起動して、原稿を作成します。

2 [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

3 [名前] からお使いのプリンタ名を選択して、[プロパティ] をクリックします。

プリンタの属性のダイアログボックスが表示されます。



メモ

- OpenOffice.org をお使いの場合は、"<プリンタ名>" (< LBP7100C >) で囲まれていないプリンタ名を選択してください。"<プリンタ名>" で囲まれているプリンタ名を選択すると、印刷することができません。

4 印刷条件を設定したあと、[OK] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

5 [OK] をクリックします。

印刷が開始されます。

アプリケーションから PostScript ファイルを出力する

577Y-014

意図した印刷結果にならない場合（→「**アプリケーションから印刷する際の注意事項(P. 45)**」）は、PostScript ファイルへ出力したあと、その PostScript ファイルをドライバ UI から印刷してください。

アプリケーションによって、PostScript ファイルの出力方法は異なります。ここでは、Adobe Reader 7.x/8.x/9.x および OpenOffice 1.x/2.x/3.x での出力方法について説明します。



メモ

- お使いのアプリケーションによっては、以下の操作手順およびメニューが異なる場合があります。

Adobe Reader 7.x/8.x/9.x の場合

1 [ファイル] メニューから、[印刷]（または [プリント]）を選択します。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

2 [ファイルへ出力] を選択したあと、[参照] をクリックします。

[ファイルへ出力] ダイアログボックスが表示されます。



メモ

- 印刷設定は、デフォルト（初期値）のままとしてください。デフォルト以外に設定した場合、意図しない印刷結果となる場合があります。

3 保存先とファイル名を指定したあと、[OK] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

4 [OK] をクリックします。

OpenOffice 1.x/2.x/3.x の場合

1 [ファイル] メニューから、[印刷]（または [プリント]）を選択します。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

2 [ファイルへ出力] にチェックマークをつけて、[OK] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

 メモ

- 印刷設定は、デフォルト（初期値）のままとしてください。デフォルト以外に設定した場合、意図しない印刷結果となる場合があります。
- OpenOffice2.x をお使いの場合は、[全般] タブをクリックしたあと、[ファイルへ出力] を選択します。

3 保存先とファイル名を指定します。

 メモ

- ファイルの種類（出力形式）を指定できる場合は、PostScript を選択します。

4 [保存]（または [印刷]）をクリックします。

アプリケーションから印刷する際の注意事項

577Y-015

アプリケーションから印刷する際の注意事項と、回避策は以下のとおりです。

- ▶ 印刷設定が無効になる場合の印刷方法 (Adobe Reader 7.x) (P. 45)
- ▶ ページレイアウト指定について (OpenOffice 2.x) (P. 45)

印刷設定が無効になる場合の印刷方法 (Adobe Reader 7.x)

Adobe Reader 7.x の印刷ダイアログのプリンタプロパティ画面で複数の印刷設定を行った場合、設定した項目は無効になります。回避方法は以下のとおりです。

- 1 アプリケーションから PostScript ファイルを出力します。(→「アプリケーションから PostScript ファイルを出力する(P. 43)」)

- 2 コマンドラインで以下のコマンドを入力し、ドライバ UI を起動します。

```
$ cngplp2l -p [PostScript ファイル名] .ps
```

[cngplp2l] ダイアログボックスが表示されます。

- 3 [プリンタ名称] からお使いのプリンタ名を選択したあと、[設定] をクリックします。

- 4 希望の印刷設定を行ったあと、[OK] をクリックします。

[cngplp2l] ダイアログボックスに戻ります。

- 5 [印刷] をクリックします。

ページレイアウト指定について (OpenOffice 2.x)

OpenOffice 2.x の印刷設定ダイアログでページレイアウトは選択できません。

ページレイアウトを指定して印刷したい場合の手順は以下のとおりです。

- 1 アプリケーションから PostScript ファイルを出力します。(→「アプリケーションから PostScript ファイルを出力する(P. 43)」)

- 2 コマンドラインで以下のコマンドを入力し、ドライバ UI を起動します。

```
$ cngplp2l -p [PostScript ファイル名] .ps
```

[cngplp2l] ダイアログボックスが表示されます。

3 [プリンタ名称] からお使いのプリンタ名を選択したあと、[設定] をクリックします。

4 [印刷全般] ページの [ページレイアウト] で希望のレイアウトを選択したあと、[OK] をクリックします。

[cngplp2l] ダイアログボックスに戻ります。

5 [印刷] をクリックします。

ドライバ UI から PostScript ファイルを印刷する際の注意事項

577Y-016

アプリケーションから出力した PostScript ファイルをドライバ UI で印刷する場合、設定内容によっては、意図した印刷結果にならない場合があります。意図した結果にならない場合には、アプリケーションから PostScript ファイルを出力する際に、印刷設定をデフォルト（初期値）のまま作成してください。

以下に例としていくつかの設定項目を取り上げ、アプリケーションとドライバ UI で重複して設定した場合の想定結果を示します。

設定項目	設定内容	想定される結果
[ページレイアウト]	4 ページ/枚	「4 ページ/枚」を再度「4 ページ/枚」で印刷することになるため、「16 ページ/枚」に似た結果になる
[印刷範囲] - [ページ範囲]	1,3,5	原文 5 ページの場合、結果として 1,3 ページ目のみ印刷される
[印刷ページ]	奇数ページ/ 偶数ページ	原文 10 ページの場合、結果として 1,5,9 ページ目のみ印刷される
[逆順印刷]		逆順印刷を 2 回実行することになるので、正順印刷になる
[印刷部数]	2	原文 10 ページの場合、10 ページ x2 部 x2 部で 40 ページ印刷される



[印刷部数] に複数部数を指定した場合、アプリケーションによっては、1 部分のページデータのみの PostScript ファイルが作成されることがあります。この場合には、ドライバ UI で重複して複数部数の指定をしても、アプリケーションで指定した部数のみ印刷されます。

コマンドラインからの印刷

577Y-017

コマンドラインモードでは、プリンタドライバの各種パラメータを、GUI を使わずにコマンドラインで指定します。

コマンドラインから直接ファイルを印刷するには、以下のように `lpr` コマンドを使用します。

\$ lpr -P [プリンタ名] [印刷したいファイル名]

メモ

- ターミナルソフトのコマンドラインから印刷を実行すると、設定の画面は表示されず、すぐに印刷が行われます。
- 各種印刷オプションの指定は、以下のようにお使いのプリンタの PPD ファイルに記述されたキーワード (Collate など) とパラメータ値の組 (=で結ぶ) をオプション (-o) に続けて指定することによって設定することができます。各印刷機能のキーワード、パラメータについては「**コマンドラインからの印刷設定 (P. 65)**」を参照してください。

```
$ lpr -P [プリンタ名] [印刷したいファイル名] -o [オプション] = [パラメータ値]
```

1 コンソールを起動します。

コンソールの起動方法は、お使いの OS ディストリビューションによって異なります。

2 以下のように、`lpr/lp` コマンドを入力します。

例：LBP7100C という名前のプリンタから、sample.ps というファイルを印刷する

```
$ lpr -P LBP7100C sample.ps
```

メモ

- 印刷オプション (option) およびパラメータ (value) の指定は、-o (オプション) に続けて "option 名=value" を入力します。
- プリンタ名を省略すると、デフォルトのプリンタが使用されます。
- サポートする印刷オプションおよびパラメータとその組み合わせは、お使いの機種によって異なります。
- オプション指定がない、または指定したオプションに誤りがある場合は、オプションは無視され、デフォルトのオプションおよび設定値で処理されます。

ドライバ UI からの印刷設定

ドライバ UI からの印刷設定	50
プリンタ選択／印刷設定	51
[印刷全般] ページ	53
[基本機能] ページ	56
[給紙] ページ	58
[拡張機能] ページ	62

ドライバ UI からの印刷設定

577Y-018

ドライバ UI から印刷するときの各種印刷設定について説明しています。



- お使いのコンピュータの環境や設定によっては、本ガイドに記載されている画面の表示と実際の表示が異なる場合があります。

- ▶ **プリンタ選択／印刷設定(P. 51)**
- ▶ **【印刷全般】 ページ(P. 53)**
- ▶ **【基本機能】 ページ(P. 56)**
- ▶ **【給紙】 ページ(P. 58)**
- ▶ **【拡張機能】 ページ(P. 62)**

プリンタ選択／印刷設定

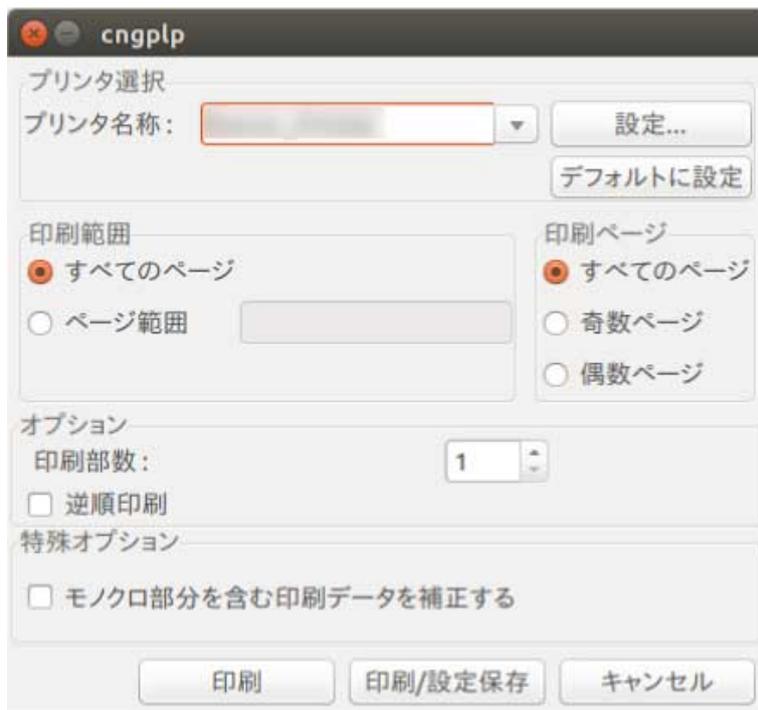
577Y-019

[cngplp2l] ダイアログボックスでは、印刷を行うプリンタの選択と、基本的な印刷設定を行います。

詳細な印刷設定を行うには、[設定] をクリックして詳細設定ダイアログボックスを表示します。(→「[ドライバ UI からの印刷\(P. 38\)](#)」)

メモ

- 画像解像度の設定によっては、設定ダイアログボックスが画面に収まらず、操作がしにくくなる場合があります。この場合、[Alt] キーを押しながら設定ダイアログボックスをドラッグすることで、はみ出して見えなくなった部分を表示させることができます。



[プリンタ選択]	プリンタの選択、詳細設定ダイアログボックスの呼び出しを行います。
[プリンタ名称]	プリントスプーラに登録したプリンタを選択します。
[設定]	選択したプリンタの詳細設定ダイアログボックスを開きます。
[デフォルトに設定]	選択したプリンタをデフォルトプリンタとします。
[印刷範囲]	ドキュメントの印刷範囲の設定を行います。

ドライバ UI からの印刷設定

[すべてのページ]	すべてのページを印刷します。(初期値)
[ページ範囲]	印刷ページ範囲を指定します。(例：1-4/1-4,7,9-12)
[印刷ページ]	ドキュメントの印刷指定の設定を行います。
[すべてのページ]	全てのページを印刷します。(初期値)
[奇数ページ]	奇数ページのみ印刷します。
[偶数ページ]	偶数ページのみ印刷します。
[オプション]	印刷コピー部数および逆順印刷を指定します。
[印刷部数]	コピー部数を指定します。(初期値は 1) (最大印刷部数は 999)
[逆順印刷]	逆順印刷を指定します。(初期値は OFF)
[印刷]	印刷を開始します。
[印刷/設定保存]	現在の設定がデフォルトの印刷設定として保存され、その設定で印刷が開始されます。
[キャンセル]	設定および印刷をキャンセルして、ダイアログボックスを閉じます。

[印刷全般] ページ

577Y-01A

印刷全般に関する機能の設定を行います。[cngplp2] ダイアログボックスの [設定] をクリックすると表示されます。
(→「ドライバ UI からの印刷(P. 38)」)

<p>[原稿サイズ]</p>	<p>用紙サイズを選択・指定します。(初期値は A4) 指定可能な用紙サイズは、選択されたプリンタのサポート用紙サイズです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [原稿サイズ] の選択項目を変更した場合、全印刷属性の選択項目はリセットされ、初期値に戻ります。 • お使いの環境によっては、初期値が異なることがあります。
<p>[印刷の向き]</p>	<p>印刷の向き・方向を指定します。</p>
<p>[ポートレート]</p>	<p>ポートレート印刷を行います。(初期値)</p>
<p>[反転ポートレート]</p>	<p>天地反転ポートレート印刷を行います。</p>

ドライバ UI からの印刷設定

[ランドスケープ]	ランドスケープ印刷を行います。
[反転ランドスケープ]	天地反転ランドスケープ印刷を行います。
[ページレイアウト]	1 ページに印刷するページフォーマット (N-Up) を指定します。
[1 ページ/枚]	用紙 1 枚に 1 ページ印刷します。(初期値)
[2 ページ/枚]	用紙 1 枚に 2 ページ印刷します。
[4 ページ/枚]	用紙 1 枚に 4 ページ印刷します。
[6 ページ/枚]	用紙 1 枚に 6 ページ印刷します。
[9 ページ/枚]	用紙 1 枚に 9 ページ印刷します。
[16 ページ/枚]	用紙 1 枚に 16 ページ印刷します。
[明るさ/ガンマ補正設定]	明るさおよびガンマ補正設定を行います。
[明るさ]	原稿の明度やコントラストを調整して印刷するときに設定します。0~200%の値で設定します。(初期値は 100%)
[ガンマ補正]	印刷結果の明るさをガンマ補正して調整することができます。1~10000 の値で設定します。(初期値は 1000)
[バナーページ印刷設定]	印刷開始時および印刷終了時のバナーページ印刷設定を行います。
[印刷開始]	
[none]	バナーページ印刷を指定しません。(初期値)
[standard]	バナーページを印刷します。
[classified]	上下ラベルに"classified"の付いたバナーページを印刷します。

ドライバ UI からの印刷設定

[secret]	上下ラベルに"secret"の付いたバナーページを印刷します。
[confidential]	上下ラベルに"confidential"の付いたバナーページを印刷します。
[topsecret]	上下ラベルに"topsecret"の付いたバナーページを印刷します。
[unclassified]	上下ラベルに"unclassified"の付いたバナーページを印刷します。
[印刷終了]	
[none]	バナーページ印刷を指定しません。(初期値)
[standard]	バナーページを印刷します。
[classified]	上下ラベルに"classified"の付いたバナーページを印刷します。
[secret]	上下ラベルに"secret"の付いたバナーページを印刷します。
[confidential]	上下ラベルに"confidential"の付いたバナーページを印刷します。
[topsecret]	上下ラベルに"topsecret"の付いたバナーページを印刷します。
[unclassified]	上下ラベルに"unclassified"の付いたバナーページを印刷します。
[OK]	現在の印刷ジョブに対してのみ、設定が有効になります。
[標準に戻す]	設定値を標準の値(初期値)に戻します。
[キャンセル]	設定の更新をキャンセルします。

[基本機能] ページ

577Y-01C

基本的な印刷機能の設定を行います。[cngplp2l] ダイアログボックスの [設定] をクリックして、[基本機能] タブをクリックすると表示されます。(→「[ドライバ UI からの印刷\(P.38\)](#)」)



[印刷方法]	片面/両面印刷設定を行います。両面印刷に対応した機種をお使いの場合のみ表示されます。
[片面印刷]	片面印刷を行います。
[両面印刷]	両面印刷を行います。
[排紙方法]	排紙方法の指定・設定を行います。
[指定しない]	グループ (ノンソート) 印刷を行います。

[給紙] ページ

577Y-01E

給紙に関する機能の設定を行います。[cngplp2l] ダイアログボックスの [設定] をクリックして、[給紙] タブをクリックすると表示されます。(→「[ドライバ UI からの印刷\(P. 38\)](#)」)



[給紙部]	給紙部選択による給紙方法の設定を行います。選択可能な給紙部はお使いのプリンタによって異なります。
[自動]	プリンタ側で自動的に選択された給紙部より給紙します。
[手差し]	手差しトレイより給紙します。
[カセット 1]	カセット 1 より給紙します。
[カセット 2]	カセット 2 より給紙します。

[カセット 3]	カセット 3 より給紙します。
[カセット 4]	カセット 4 より給紙します。
[用紙種類]	プリンタで使用する用紙の種類を選択します。 この項目の設定に合わせて、プリンタは良好な印刷結果が得られるように適切な内部処理を自動的に行います。
[デバイスの設定を使用]	ステータスマニタの [給紙部設定] ダイアログボックスにある [用紙種類] の設定を使用します。(初期値) <ul style="list-style-type: none"> • [給紙部設定] ダイアログボックスの [用紙種類] の設定が [フリー] の場合に、[デバイスの設定を使用] を選択すると、[普通紙 1] として印刷されます。
[普通紙]	普通紙
[普通紙 L]	普通紙 L
[普通紙 L2]	普通紙 L2
[普通紙 H]	普通紙 H
[普通紙 1]	普通紙
[普通紙 2]	普通紙
[再生紙]	再生紙
[色紙]	色紙
[ボンド紙 1]	ボンド紙 1
[ボンド紙 2]	ボンド紙 2
[ボンド紙 3]	ボンド紙 3
[厚紙]	厚紙
[厚紙 H]	厚紙 H

ドライバ UI からの印刷設定

[厚紙 1]	厚紙
[厚紙 2]	厚紙
[厚紙 3]	厚紙
[OHP フィルム]	OHP フィルム
[ラベル用紙]	ラベル用紙
[薄紙 1]	薄紙
[薄紙 2]	薄紙
[はがき]	はがき
[封筒]	封筒
[封筒 H]	封筒 H
[コート紙 1]	コート紙
[コート紙 2]	コート紙
[コート紙 3]	コート紙
[コート紙 4]	コート紙
[ラフ紙 1]	ラフ紙 1
[ラフ紙 2]	ラフ紙 2
[A5 を横送り]	A5 サイズの用紙を使用する場合の、用紙の送り方向を設定します。(初期値：[しない]) <ul style="list-style-type: none"> ● しない：縦送り ● する：横送り

ドライバ UI からの印刷設定

[OK]	現在の印刷ジョブに対してのみ、設定が有効になります。
[標準に戻す]	設定値を標準の値（初期値）に戻します。
[キャンセル]	設定の更新をキャンセルします。

[標準に戻す]	設定値を標準の値（初期値）に戻します。
[キャンセル]	設定の更新をキャンセルします。

コマンドラインからの印刷設定

コマンドラインからの印刷設定	65
印刷全般	66
印刷部数	67
基本機能	68
両面印刷	69
とじ位置	70
排紙方法	71
カラーモード	72
ドラフトモード	73
給紙機能	74
給紙トレイ	75
用紙種類	76
原稿サイズ	79
A5 を横送り	81
拡張機能	82
用紙サイズのチェック	83
特殊設定 1	84

コマンドラインからの印刷設定

577Y-01H

コマンドラインから印刷するときのオプション設定方法について説明しています。

- ▶ 印刷全般(P. 66)
- ▶ 基本機能(P. 68)
- ▶ 給紙機能(P. 74)
- ▶ 拡張機能(P. 82)

印刷全般

577Y-01J

コマンドラインから印刷するときに、印刷設定のオプションを指定することができます。(→「[コマンドラインからの印刷\(P. 48\)](#)」)

以下のようにコマンドを入力します。

\$ lpr -P [プリンタ名] [印刷したいファイル名] -o [オプション] = [パラメータ値]



メモ

- プリンタ名を省略すると、デフォルトのプリンタが使用されます。
- サポートする印刷オプションおよびパラメータとその組み合わせは、お使いの機種によって異なります。
- オプション指定がない、または指定したオプションに誤りがある場合は、オプションは無視され、デフォルトのオプションおよび設定値で処理されます。

▶ [印刷部数\(P. 67\)](#)

印刷部数

577Y-01K

CNCopies : 印刷部数を指定します。

```
$ lpr [出力したいファイル名] -o CNCopies= [パラメータ]
```

パラメータ	1~999 までの数値で指定します。(単位は部数)
コマンド入力例	印刷部数 3 部を指定して sample.ps というファイルを印刷： <pre>\$ lpr sample.ps -o CNCopies=3</pre>

基本機能

577Y-01L

コマンドラインから基本機能に関する機能を設定します。



- 両面印刷を行う場合、とじ位置と組み合わせて指定しないと、意図した印刷結果が得られないことがあります。

- ▶ [両面印刷\(P. 69\)](#)
- ▶ [とじ位置\(P. 70\)](#)
- ▶ [排紙方法\(P. 71\)](#)
- ▶ [カラーモード\(P. 72\)](#)
- ▶ [ドラフトモード\(P. 73\)](#)

両面印刷

577Y-01R

Duplex : 片面/両面印刷を指定します。

```
$ lpr [出力したいファイル名] -o Duplex= [パラメータ]
```

パラメータ	以下の項目から選択して入力します。
None	片面印刷
DuplexNoTumble	両面印刷（長辺とじ）
DuplexTumble	両面印刷（短辺とじ）
コマンド入力例	両面印刷（長辺とじ、とじ位置左）を指定して sample.ps というファイルを印刷： <pre>\$ lpr sample.ps -o Duplex=DuplexNoTumble -o BindEdge=Left</pre>

メモ

- 両面印刷を行う場合、**とじ位置(P. 70)** (BindEdge) と組み合わせて指定しないと、意図した印刷結果が得られないことがあります。
- とじ位置は、ドキュメントを縦に置いた状態（ポートレート）を基準にします。

とじ位置

577Y-01S

BindEdge : とじ位置を、短辺にするか長辺にするかを指定します。

```
$ lpr [出力したいファイル名] -o BindEdge= [パラメータ]
```

パラメータ	以下の項目から選択して入力します。
Left	長辺とじ
Top	短辺とじ
コマンド入力例	とじ位置に左を指定して sample.ps というファイルを印刷: <pre>\$ lpr sample.ps -o BindEdge=Left</pre>

メモ

- **両面印刷(P. 69)** (Duplex) を行う場合、とじ位置と組み合わせて指定しないと、意図した印刷結果が得られないことがあります。
- とじ位置は、ドキュメントを縦に置いた状態 (ポートレート) を基準にします。

排紙方法

577Y-01U

Collate : 複数部印刷時の部単位印刷を指定します。

```
$ lpr [出力したいファイル名] -o CNCopies= [部数] -o Collate= [パラメータ]
```

パラメータ	以下の項目から選択して入力します。
True	部単位での印刷を行う。(123,123,・・・)
False	部単位での印刷を行わない。(111,222,・・・)
コマンド入力例	印刷部数3部、部単位を指定して sample.ps というファイルを印刷： <pre>\$ lpr sample.ps -o CNCopies=3 -o Collate=True</pre>

カラーモード

577Y-01W

CNColorMode : カラーモードを指定します。

```
$ lpr [出力したいファイル名] -o CNColorMode= [パラメータ]
```

パラメータ	以下の項目から選択して入力します。
color	カラー
mono	白黒
コマンド入力例	<p>白黒指定で sample.ps というファイルを印刷 :</p> <pre>\$ lpr sample.ps -o CNColorMode=mono</pre>

ドラフトモード

577Y-01X

お使いのデバイスによって、以下の2つのキーワードを使い分けます。

CNDraftModeTwo : ドラフトモードを指定します。

```
$ lpr [出力したいファイル名] -o CNDraftModeTwo= [パラメータ]
```

パラメータ	以下の項目から選択して入力します。
Off	指定なし
Mode1	モード 1
Mode2	モード 2
Mode3	モード 3
コマンド入力例	モード 1 を指定して sample.ps というファイルを印刷： <pre>\$ lpr sample.ps -o CNDraftModeTwo=Mode1</pre>

CNDraftMode : ドラフトモードを指定します。

```
$ lpr [出力したいファイル名] -o CNDraftMode= [パラメータ]
```

パラメータ	以下の項目から選択して入力します。
Off	使わない
On	使う
コマンド入力例	ドラフトモードを使用して sample.ps というファイルを印刷： <pre>\$ lpr sample.ps -o CNDraftMode=On</pre>

給紙機能

577Y-01Y

コマンドラインから給紙に関する機能を設定します。

- ▶ 給紙トレイ(P. 75)
- ▶ 用紙種類(P. 76)
- ▶ 原稿サイズ(P. 79)
- ▶ A5 を横送り(P. 81)

給紙トレイ

577Y-020

どの給紙段から用紙を給紙するかを指定します。

```
$ lpr [印刷したいファイル名] -o InputSlot= [パラメータ]
```

パラメータ	以下の項目から選択して入力します。
Auto	自動給紙トレイ
Manual	手差しトレイ
Cas1	カセット 1
Cas2	カセット 2
Cas3	カセット 3
Cas4	カセット 4
コマンド入力例	カセット 2 からの給紙を指定して sample.ps というファイルを印刷： <pre>\$ lpr sample.ps -o InputSlot = Cas2</pre>

用紙種類

577Y-021

MediaType : 印刷する用紙の種類を指定します。

```
$ lpr [出力したいファイル名] -o MediaType= [パラメータ]
```

パラメータ	以下の項目から選択して入力します。
Auto	デバイスの設定を使用
PlainPaper	普通紙
PlainPaperL	普通紙 L
PlainPaperL2	普通紙 L2
PlainPaperH	普通紙 H
PlainPaper1	普通紙 1
PlainPaper2	普通紙 2
RECYCLED	再生紙
COLOR	色紙
BOND	ボンド紙 1
BOND2	ボンド紙 2
BOND3	ボンド紙 3
HEAVY	厚紙

コマンドラインからの印刷設定

ThickPaperH	厚紙 H
HEAVY1	厚紙 1
HEAVY2	厚紙 2
HEAVY3	厚紙 3
OHP	OHP フィルム
LABELS	ラベル紙
THIN1	薄紙 1
THIN2	薄紙 2
POSTCARD	はがき
ENVELOPE	封筒
EnvelopeH	封筒 H
1SIDECOATED1	コート紙 1
1SIDECOATED2	コート紙 2
1SIDECOATED3	コート紙 3
1SIDECOATED4	コート紙 4
ROUGH1	ラフ紙 1
ROUGH2	ラフ紙 2

コマンド入力例

用紙の種類に普通紙 1 を指定して sample.ps というファイルを印刷：

```
$ lpr sample.ps -o MediaType=PlainPaper1
```

原稿サイズ

577Y-022

PageSize : 原稿のサイズを指定します。

```
$ lpr [出力したいファイル名] -o PageSize= [パラメータ]
```

パラメータ	以下の項目から選択して入力します。
Letter	Letter サイズ
Legal	Legal サイズ
Ledger	Ledger サイズ
Statement	Statement サイズ
Executive	Executive サイズ
A5	ISO A5 サイズ
B5	JIS B5 サイズ
A4	ISO A4 サイズ (初期値) <ul style="list-style-type: none"> お使いの環境によっては、初期値が異なることがあります。
B4	JIS B4 サイズ
A3	ISO A3 サイズ
Postcard	はがきサイズ
dbl_postcard	往復はがきサイズ
4x_postcard	4面はがきサイズ

コマンドラインからの印刷設定

jenv_you_chou3	洋形長 3 号サイズ
jenv_chou3	JIS 長形 3 号サイズ
jenv_kaku2	JIS 角形 2 号サイズ
コマンド入力例	原稿のサイズに A4 を指定して sample.ps というファイルを印刷： <pre>\$ lpr sample.ps -o PageSize=A4</pre>

A5 を横送り

577Y-023

CNFeedAFiveHorizontally : A5 サイズの用紙を使用する場合の、用紙の送り方向（置き方）を設定します。

```
$ lpr [出力したいファイル名] -o PageSize=A5 -o CNFeedAFiveHorizontally= [パラメータ]
```

パラメータ	以下の項目から選択して入力します。
True	横送り
False	縦送り
コマンド入力例	A5 用紙を横送りにして sample.ps というファイルを印刷： <pre>\$ lpr sample.ps -o PageSize=A5 -o CNFeedAFiveHorizontally=True</pre>

拡張機能

577Y-024

コマンドラインから拡張機能に関する機能を設定します。

- ▶ **用紙サイズのチェック(P. 83)**
- ▶ **特殊設定 1(P. 84)**

用紙サイズのチェック

577Y-025

CNDetectPaperSize : 印刷前に用紙サイズのチェックを行うかどうかを指定します。

```
$ lpr [出力したいファイル名] -o CNDetectPaperSize= [パラメータ]
```

パラメータ	以下の項目から選択して入力します。
True	印刷前に用紙サイズのチェックを行う
False	印刷前に用紙サイズのチェックを行わない
コマンド入力例	用紙サイズチェック機能を使用して sample.ps というファイルを印刷： <pre>\$ lpr sample.ps -o CNDetectPaperSize=True</pre>

特殊設定 1

577Y-026

CNBarCodeMode : 特殊設定 1 を指定します。

```
$ lpr [出力したいファイル名] -o CNBarCodeMode= [パラメータ]
```

パラメータ	以下の項目から選択して入力します。
Off	指定なし
Mode1	モード 1
Mode2	モード 2
Mode3	モード 3
Mode4	モード 4
Mode5	モード 5
コマンド入力例	<p>モード 5 を指定して sample.ps というファイルを印刷 :</p> <pre>\$ lpr sample.ps -o CNBarCodeMode=Mode5</pre>

ステータスマニタについて

ステータスマニタについて	86
ステータスマニタの各部の名称と機能	87
ステータスマニタを起動する	88
メニューについて	89

ステータスマニタについて

577Y-027

ステータスマニタの機能と使いかたについて説明しています。



- お使いのコンピュータの環境や設定によっては、本ガイドに記載されている画面の表示と実際の表示が異なる場合があります。

- ▶ ステータスマニタの各部の名称と機能(P. 87)
- ▶ ステータスマニタを起動する(P. 88)
- ▶ メニューについて(P. 89)

ステータスマニタの各部の名称と機能

577Y-028

ステータスマニタは、プリンタと連動して動作するアプリケーションソフトウェアです。ステータスマニタを使用すると、プリンタ状態をコンピュータ上で確認することができます。



メニューバー

[ジョブ]	印刷の再開や中止などを実行します。
[オプション]	プリンタのクリーニングを実行したり、プリンタの設定をします。
[ステータスマニタを隠す]	本ボタンをクリックすると、ステータスマニタを非表示にし、印刷中にエラーが発生したときだけ、自動的にステータスマニタが表示されるようにします。
メッセージ領域	メッセージ領域、及びメッセージ領域（補助）には、プリンタの状況をメッセージで表示します。
[エラー復帰]	本ボタンをクリックすると、印刷を再開します。
[印刷中止]	本ボタンをクリックすると、印刷を中止します。

ステータスマニタを起動する

577Y-029

ステータスマニタ起動する手順は、以下のとおりです。

1 ステータスマニタを起動します。

以下のようにコマンドを入力します。

```
$ ncapstatusui -P [プリンタ名]
```

例：プリンタ名称が LBP7100C のステータスマニタを起動する

```
ncapstatusui -P LBP7100C
```

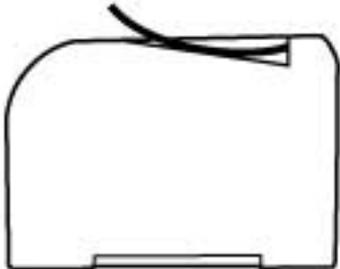
メニューについて

577Y-02A

ステータスマニタには、以下のメニューがあります。

[ジョブ]	
[エラー復帰]	印刷を再開します。
[印刷中止]	印刷を中止します。
[オプション]	
[消耗品情報]	(LBP7110C、LBP7100C のみ) [消耗品情報] ダイアログボックスを表示します。 [消耗品情報] ダイアログボックスでは、トナーカートリッジの状態の確認を行うことができます。
[カウンタ情報]	(LBP7110C、LBP7100C のみ) [カウンタ情報] ダイアログボックスを表示します。 [カウンタ情報] ダイアログボックスでは、印刷した総ページ数などの確認を行うことができます。
[無線 LAN 状態]	(LBP7110C のみ) 無線 LAN の接続状態（電波強度）を確認することができます。
[ユーティリティ]	プリンタの定着ローラのクリーニングや印字位置の調整などを行います。
[キャリブレーション]	(LBP7110C、LBP7100C のみ) 手でプリンタのキャリブレーションを行います。色味が変わり正しい色（指定した色）で印刷されないときなどに、キャリブレーションを行います。
[色ずれ補正]	(LBP7110C、LBP7100C のみ) 色ずれが発生したときに、各色の印字開始位置を調整して色ずれを補正します。
[クリーニング]	(LBP8100、LBP6240、LBP6230、LBP6040、LBP6030 のみ) 印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、プリンタの定着ローラをクリーニングします。
[クリーニング 1]	(LBP7110C、LBP7100C のみ) プリンタの定着ローラをクリーニングします。印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合に実行します。
[クリーニング 2]	(LBP7110C、LBP7100C のみ) 転写ベルトに汚れが付着すると、印刷品質が低下する場合があります。そのような場合は、転写ベルトをクリーニングします。
[デバイス設定]	(LBP8100、LBP7110C、LBP7100C のみ) プリンタの設定やトラブル発生時の対策を行います。

ステータスマニタについて

[給紙部設定]	[給紙部設定] ダイアログボックスを表示します。 各給紙部にセットした用紙サイズや用紙種類の登録などを行うことができます。
[ジョブキャンセルキー設定]	(LBP7110C、LBP7100C のみ) プリンタのジョブキャンセルキーの使用を許可するかどうかを設定することができます。
[Wi-Fi キーの無効化設定]	(LBP7110C のみ) プリンタの Wi-Fi キーを無効化するかどうかを設定することができます。
[スリープ設定]	(LBP7110C、LBP7100C のみ) スリープモードを使用するかどうかや、スリープモードに移行するまでの時間を設定することができます。
[オートシャットダウン設定]	(LBP7110C、LBP7100C のみ) オートシャットダウン機能を使用するかどうかや、オートシャットダウンするまでの時間を設定することができます。 お使いの国や地域によっては、この設定が表示されない場合があります。
[画質調整設定]	(LBP7110C、LBP7100C のみ) 指定した時刻やプリンタの電源を入れた直後に、画質調整を行うかどうかを設定することができます。
[用紙サイズ置換設定]	(LBP7110C、LBP7100C のみ) 指定したサイズの内紙がプリンタにセットされていないときに、用紙サイズを置き換えて印刷するかどうかを設定することができます。
[印刷補助設定]	<p>(LBP7110C、LBP7100C のみ) 印刷結果の問題を改善するための設定を行うことができます。</p> <p>[出力用紙のカールを補正する]： 60~74 g/m² の用紙を印刷した場合、使用環境（特に高湿度環境）によっては、次の問題が発生することがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 印刷しない部分に残像が現れる ● 排紙された用紙にしわがよる ● 排紙された用紙が次のどちらかのようにカールする <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>側面図</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>正面図</p>  </div> </div> <p>そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。</p> <p>[長時間休止後の印字不良を抑制する]： プリンタが長時間休止したあとや用紙の種類によっては、中間調部分や白紙部分に細い横すじ（横線）が入ることがあります。 そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。</p> <p>[封筒印刷時の張り付きを回避する]： 封筒を印刷した場合、封筒の種類や使用環境（特に高湿度環境）によっては、封筒のふたが貼り付いてしまうことがあります。 そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。</p> <p>[封筒印刷時のシワを低減する]：</p>

ステータスマニタについて

封筒を印刷した場合、封筒の種類や使用環境（特に高湿度環境）によっては、封筒にしわがよることがあります。
そのような場合、本項目にチェックマークを付けると、問題を改善できることがあります。

[ステータスマニタを隠す]

ステータスマニタを非表示にし、印刷中にエラーが発生したときだけ、自動的にステータスマニタが表示されるようにします。

付録

付録	93
主な制限事項	94
サポートについて	95

付録

577Y-02C

制限事項など、本プリンタドライバについての参考情報について説明しています。

- ▶ **主な制限事項(P. 94)**
- ▶ **サポートについて(P. 95)**

主な制限事項

577Y-02E

このドライバを使用する上での、主な制限事項は以下のとおりです。

CUPS 動作設定による使用制限

CUPS を使用して印刷を行う場合は、以下の制限があります。

- CUPS の lpr コマンドで画像ファイルを直接印刷する場合、複数枚に分割して印刷されることがありますので、その場合は画像の大きさを調整してください。
- lpr コマンドで PostScript ファイルを印刷する場合は、CUPS はその ps ファイルを印字領域の左下角に寄せ、かつ ps ファイルが定義する大きさ分展開します。用紙サイズより大きな ps ファイルを印刷しようとした場合、用紙サイズよりはみ出した部分は印刷されません。

動作保証・プログラム等の保証の免責

- 操作説明に記載された手順、方法等に対して、動作の保証をするものではありません。
- 操作説明に記載された操作方法、手順によって、次の事象等が発生した場合でも、キヤノン（株）、キヤノンマーケティングジャパン（株）は何ら責任を負いかねますので、その旨をご理解の上ご使用ください。

当該操作、手順によって、お客様のシステムにインストール済のプログラムまたはシステムなどに何らかの異常が認められた場合

お客様のプリンタの動作に何らかの異常が認められた場合（プリンタが正常に動作しないと認められた場合）

印刷の動作や結果（品位・品質等）に満足いただけない場合

サポートについて

577Y-02F

本ソフトウェア、および付随する情報等は、キヤノンが独自に開発し、キヤノンマーケティングジャパンが配布するものです。

本ソフトウェア、および付随する情報等に対応するプリンタの製造元であるキヤノン、配布元であるキヤノンマーケティングジャパンは、本ソフトウェア、および付随する情報等に関するお問い合わせは受け付けておりません。

なお、プリンタの修理、または消耗品の購入等、プリンタ本体に関する問い合わせは、キヤノンマーケティングジャパンにお願いいたします。

ご意見・ご要望に関しましては、今後の開発の参考にさせていただきますので、webmaster@canon-sales.co.jp 宛にメールいただきますようお願い致します。

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at: <http://scripts.sil.org/OFL>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

- 1) Neither the Font Software nor any of its individual components, in Original or Modified Versions, may be sold by itself.
- 2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.
- 3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.
- 4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.
- 5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.